

# 令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 高牟礼中学校プラン

《学校の教育目標》「意欲的に学び続ける生徒の育成 ～有言実行する教師の実践から～  
 <本年度 学校の重点目標>「表現する活動」を授業に位置づけ、考えをつくり伝え合う生徒を育成する。

知識及び技能を学習と関連付け  
生かすことができる。  
【つくる力】

相手の気持ちや立場を考えて行  
動することができる。  
【つなぐ力】

あきらめず最後まで挑戦しようと  
する。  
【つらぬく力】

## 学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載 (子どもの思考を促す問いによる課題設定と、問題解決的な授業の展開) (全教科)
- ②めあてとまとめがあり、「表現する活動」を位置付けた授業づくりを行う。  
【成果指標】「県学カテストにおける国語科の学校平均点が県平均以上となることを目指す」
- ③Chromebookを活用し、思考の交流・共有による授業づくりを行う。(各教科)
- ④考えをつくり、効果的に表現し合う双方向型コミュニケーション活動を取り入れた授業を展開する。(各教科)
- ⑤全教員が計画的に授業研究を行い、教科指導力の向上を図る。(全員一回)

## 笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載(専門性を身につける専門研修等の積極的な受講等による、実践的指導力の向上)【成果指標】「先生は分かるまで教えてくれる」と答える生徒の割合が85%以上
- ②毎週月曜日の定時退校と20時の施錠を実施する。
- ③働き方改革を断行・推進する。

## 協働する学校・家庭・地域

- ①学習習慣形成のために、スローメディアに取り組む。
- ②基本的な生活習慣形成のために、SNS活用等のルール作りに取り組む。【成果指標】「スローメディアに取り組んだ」と回答する生徒の割合が90%以上
- ③学力向上プラン「視点4」に記載(学力に関する小中連携の研修会を実施する。)

## 楽しい学校

- ①(毎日)「くるめアクションプラン」の初期対応を徹底する。(月1回)不登校対策委員会で、マンツーマン個票をもとに対応を見直し、全職員で共有する。(学期1回)アンケートを活用して悩み等を把握し、生徒・教員の教育相談を行う。  
【成果指標】不登校数の前年度比が減少、いじめの認知件数が全国平均以上
- ②学校施設等の月1回の安全点検を徹底するとともに、生徒に対する学期に1回以上の安全教育・防災教育を実施する。
- ③自主的・自治的な活動を支援し、生徒会リーダーを育成する。

## 【体力向上】

- ①保健体育科の授業で、習熟に応じたねらいやルールを設定し、個に応じた指導の充実を図る。
- ②保健体育科の実技授業で、持久力・俊敏性・筋力を高めるサーキットトレーニングを毎時間行う。  
【「1校1取組」運動】  
・体力アップシート活用率:目標100%

## 【あいさつ・そうじ・時間・自学自習】

- ①立ち止まって、笑顔で等の5Sを意識したあいさつ・返事ができるように、生徒会による挨拶運動を実施する。(週2回以上)
- ②隅々まで、素早く、静かにの3Sによる掃除徹底の意識を向上させるため、環境委員会による美化強化週間等を設定する。(月1回以上)
- ③タイム席を守ることができるよう「タイム席強化週間」を設定する。(学期1回)
- ④総務委員が中心となり、定期考査前の予想問題作成等の取組を強化する。

## 基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【目指す教師像】……「提案」と「有言実行」を実践する教師
- 人権・同和教育: 全教科・領域で推進し、特に学級活動・道徳科の充実を図る。(経営要綱P67~参照)
  - 特別支援教育: 特支コーディネーターを中心に、全職員で協働的な学習支援を行う。(経営要綱P65~参照)
  - キャリア教育: キャリアパスポートを活用し、将来への見通しに向けたキャリア支援を行う。(経営要綱P59~参照)